

夏・秋 Canada B.C.州 Kootenay 地方を訪ねて

2017.8-9 関東支部 T.N.&Y.

旅の切っ掛け

昨年冬、カナダ B.C.州出身サーバスの K.さんが我家を訪ね、その折に B.C.州の中でもロッキー山脈の西側に位置する Kootenay 地方は、高峰の連なる東側とはひとあじ違った Kokanee Glacier Park に代表される比較的緩やかな山々と全長 100 km もある Kootenay Lake に囲まれ自然豊かな地方で、冬はスキー、1年を通してバイク・ハイキングがとても盛んなところで旅をするなら是非一度訪ねて見て下さいとお勧めがあり、今回我々は 38 日間を掛けこの Kootenay 地方を訪ねた。



(K.さんが我家に 2 度目の訪問)

旅の準備と旅行日程

折角旅行するならただ観光だけでなくその土地の方々ともお話やハイキングが出来れば旅行は最大に楽しめるものと思い 3 か所で 5 軒のサーバスから予め訪問のアポイントを取り付け、これを中心にして旅行全体の日程をたてた。

Vancouver (18-20/8) ---Nelson (20-23/8) ---Kaslo (23-31/8)---Nakusp (31/8-1/9) ---Salmon Arm (1-2/9)
---Vernon (2-12/9)---Vancouver (12-22/9)、サーバスのアポイントは Nelson1 軒 Nakusp1 軒 Vernon3

軒の計 5 軒とした。

- ・ 3 月中旬、支部長に LOI とカナダのサーバス・リストの発給を申請し数日後受け取る。
- ・ 3 月下旬、K.さんに正式にカナダ旅行の予定を知らせる。
- ・ 4 月中旬、リストから Nelson, Nakusp, Vernon の 3 つの町で訪問するサーバスを選び予定を問い合わせる。数日後、問い合わせたすべてのサーバスから引受のメールを頂く。
- ・ 5 月中旬、K.さんに Kaslo で借るアパートでの共同生活を提案し、4 日間を一緒に生活することになる。
- ・ 5 月下旬、東京～カナダ・バンクーバーの航空券を手配する。
- ・ 6 月上旬、8 月中下旬、Vancouver 及び Kaslo で宿泊するアパートを ABB で予約する。
- ・ 7 月下旬、K.さんに旅行日程の詳細を説明し Vancouver から Kaslo まで K.さんの車に便乗をお願いする。
- ・ 8 月中旬、出発 1 週間前にお世話になるサーバスの方へ訪問日程を再度確認のメール出す。



(Nelson の J.さんと N.さんご夫妻と一緒に夕食を)

移動が最大の問題

旅行の中で最大の問題は目的の町までどの様にして移動するかである。ガイドブックによれば一般的に

カナダではレンタカーを利用すると書かれているが不慣れな国でしかも交通ルールや車種が日本と異なり交通事故を引き起こし易いと判断し、旅行中は飛行機、電車、バス、タクシー等の利用が最も安全と考えた。予め旅行スケジュールに合わせ、Skytrain やバスの乗り方、Compass Card の利用方法を調べたり、Grey Hound Bus の運行状況に沿い乗車券を購入したり、またどうしても無理なところはサーバスの方に送迎をお願いすることにした。

Vancouver 市内では Skytrain、バス、Vancouver から Nelson - Kaslo まではケイトさん車で、Kaslo では殆ど徒歩か友人の車で、Kaslo から Nakusp までは友人の車で、Nakusp から Salmon Arm まではサーバスの L.さんの車で、Salmon Arm から Vernon までは Grey Hound Bus で、Vernon から Kelowna 空港まではサーバスの D.さんの車で、その後飛行機で Vancouver へそれぞれ移動した。



(Nakusp の L.さん・B.さんご夫妻に車で
Salmon Arm まで送ってもらう。フェリー乗船中)

サーバスの選択

リストの中から訪問する地域、趣味、年齢などを考慮しサーバスを選択する。今回は訪問する地域が都会ではなく地方の町、趣味はウォーキング・ハイキング・ゴルフ、年齢も私達夫婦と同じ世代などを中心に選択し、5軒のサーバスにアポイント要請のメールを出した。そのすべてから快く引き受けてもらう。

また現地ではサーバスの方々との会話もスムーズに運び、皆さんに沢山のハイキングやウォーキングに連れて行ってもらう。



(Vernon の J.さん宅でワインをご馳走になりながら四方山話を)

サーバスとのお付き合い

初対面のサーバスとどのように話をすればいいのだろうか？私達の場合、サーバスの方と一緒にハイキングに出かけたり、食事を作るのを手伝ったりしているうちに少しずつ自然に打ち解けあうようする。また、サーバス宅に3度の食事から始まり、ハイキングやウォーキング、時には洗濯などもお願いすることもあり、時に非常に心苦しいと感じることもある。私達は予め小さな日本のお土産を持参し、積極的に食事の後片付けを手伝ったり時にはこちらから食事の用意を申し出たりする。ただ余りにもお世話になった時は、町のレストランを予約してもらいサーバスを招待したりする。



(Vernon の B.さんと C.さん夫妻と昼食を)

旅行を振り返って見て

今回のカナダ旅行は、カナダ・サーバスの K.さんを引き受けたことから始まる。Nelson Nakusp Vernon の 3 市で 5 軒、延べ 15 日間サーバスの方々に大変お世話になり、楽しく生活を共にすることができた。昨年 K.さんから日本に滞在しているカナダ人の D.さんと S.さん夫婦を紹介してもらい、今回の旅行中その彼らの帰省先である Kaslo で再会することが出来た。その上帰国後、Kaslo で知り合った S.さんの友人 A.さんと S.さん夫妻と S.さんと一緒に 5 泊 6 日で熊野古道を歩くことも出来た。カナダと日本を合わせ 45 日間の本当に素晴らしい旅をすることが出来た。

旅行を通しサーバスという組織は本当に素晴らしい絆だと思う。ある意味でサーバスを頼って海外旅行をするのはアドベンチャーだとは思いますが、私達が海外のサーバスから受けたこの様な歓迎を今度は是非日本に来る海外のサーバスに心を込めてお返ししたいと思う。

カテゴリ：国際交流, 2017 年

コメント: 1

• #1

横浜の外国へのあこがれ人(土曜日, 10 3 月 2018 11:54)

サーバス旅行のすばらしさが肌で感じられるレポートであるばかりでなく、どういう時間配分で旅行前の準備をされたのかも分かり、これからサーバス旅行を考えるうえで参考になりました。